



ベトナム文化を教えてもらいました 国際理解講座@三河台学習センター

三河台学習センターの小学生講座で、福島大学生のフォンさん、クエンさん、グエンさんに講師をお願いし、ベトナム文化を紹介していただきました！

伝統文化やベトナムの子どもたちが好きな遊び、バイクがたくさん走っている動画を紹介。最後にベトナムの生春巻きの作り方を教えてもらいました！ 具材やタレを前日から準備して、本場の味を再現してくださいました。子どもたちは始めは苦戦しましたが、講師の3人にアドバイスをもらい



ながら生春巻きを完成させることができました。ベトナムのぜんざい“チュー”のお土産も用意されていて、子どもたちは楽しくおいしくベトナム文化に触れることができたのではないかと思います。保護者の方も数名見学し、後日心温まるメッセージをくださいました。



素敵なプレゼンテーションを準備してくれたフォンさん、おいしい料理を教えてくれたクエンさん、グエンさんありがとうございました！



世界を旅するワークショップを開催しました

11月に蘭日協会会長のイングリッド・ハウトコーペルさんと、消しゴム版画作家「とみこはん」こと富永真紀さんを講師に、オランダについてのワークショップを福島市写真美術館で開催し、28の方にご参加いただきました。



イングリッドさんから、オランダがどんな国か、日本との歴史的なつながりなどをお話しいただきました。オランダは土地の起伏が少なく自転車を使う人が多いため、人口より自転車の数の方が多いんだとかか。平坦で緑豊かな牧草地、春の風物詩チューリップ畑、運河に囲まれた都市などオランダの風景はどれも素敵でした。

はんこアート体験では、富永さん手作りのオランダらしい風車や木靴、チュー

リップなどのほか、福島にちなんだ桃やウサギ、お花をモチーフにしたはんこを使ってエコバッグをデコレーションしました。皆さん時間を忘れて熱中し、心に残るワークショップになったのではないかと思います。



イングリッドさんは、日本企業に勤めた経験を活かして、オランダと日本の架け橋として情報発信や翻訳・二国間連携のコーディネーターなどに長く携わっていて、外務省の風評払拭事業で福島に招致されたことがきっかけで福島とつながりました。オランダで福島市内の農家さんと連携したイベントを開催したり、福島の温泉地を紹介する記事を執筆するなどの活動をされていて、「震災や原発事故の被災地としてではなく、福島の魅力をオランダの人びとに知ってほしい」という思いを持っていらっしゃる。遠くオランダから福島のことを応援してくださるイングリッドさん、また福島市に来ていただける日を楽しみにしています。



国際交流員サムさん 着任のご挨拶

2022年8月から新たに福島市の国際交流員としてサマンサ・ルビー・バーネットさんが着任しました。協会の英語講座の講師のほか、学校や地域での異文化理解講座などで市民の皆さんと交流します。協会SNSの更新も担当します！

Hello!! My name is Samantha Ruby Burnett. You can call me Sam! I am 21 years old, and I come from Australia. Nice to meet you!

I started working at Fukushima City Hall as the Coordinator for International Relations in August this year. My work duties include translation, interpretation, English classes, cultural classes, and SNS management. If you ever need help with procedures relating to the city hall, then I'm sure we will meet soon, as I am the English interpreter at the Support Desk for Foreign Residents.

I come from a city called Wollongong. It is roughly an hour south of Sydney, and right by the coast. The Wollongong area is very famous for its beaches. When I lived in Australia I studied Japanese all through high school, and majored in it at university, graduating at the end of last year. My hobbies are watching anime and playing video games. While my love for anime motivated me to study when I was younger, now on my fourth visit to Japan, my interests in travel and learning more about Japanese culture are also big reasons why I want to continue to improve.

Living in Japan has always been my dream, and I am so grateful to be able to live my dream in a city as beautiful as Fukushima. Being able to help people and make an impact in the community means a lot to me, and I'm really excited for what's to come.

こんにちは！私の名前はサマンサ・ルビー・バーネットです。サムと呼んでください。21歳です。オーストラリア出身です。

今年の8月から福島市役所で国際交流員として働き始めました。業務は翻訳、通訳、英語講座、文化講座と福島市国際交流協会のSNS運営です。もし、市役所の手続きで困っていることがあれば、外国人生活相談窓口の英語通訳者だから、すぐに会えると思います。



私の出身はウロンゴンという市です。シドニーから南、1時間ぐらいの海岸沿いにあります。ウロンゴンの地域はビーチで有名です。オーストラリアに住んでいた時に、高校や大学で日本語を勉強しました。大学の専門は日本語で、去年卒業しました。趣味はアニメを見たり、ビデオゲームをしたりすることです。若い時には、アニメへの愛情が勉強の動機でしたが、今回日本に来るのは4回目になりましたから、旅行や日本文化についてもっと学ぶことへの関心も、私が向上し続けたい大きな理由です。

日本に住むことはずっと私の夢でしたから、福島市のような美しい市に住む夢が叶って、感謝しています。人々を助けたり、コミュニティに影響を与えたりできることは私にとって大事だから、これから何が起こるかを本当に楽しみにしています。よろしくお願いします。

どこでもアオウゼチャンネル出演！

アオウゼが運営するYouTubeチャンネル「どこでもアオウゼチャンネル」の撮影にサマンサさんが参加してきました。

日本に来たきっかけや、福島での暮らしについてなどなど、当協会の副会長でもある佐藤美奈子さんにインタビューしていただきました！

動画は近日公開予定です。お楽しみに！

「どこでもアオウゼチャンネル」では、福島市の魅力的なスポットや人を紹介する動画が投稿されています。→



多文化共生の現場レポート！ ～からふるカフェ マラウイ編～

今回は、福島移住女性支援ネットワーク(EIWAN)とふくしま青年海外協力隊の会が開催している「からふるカフェ」を、国際交流員のサムさんが取材してきました！

Do you want to try delicious food from all over the world? At Colorful Café, held at Minafuku Shokudou, you can do just that!

In October we learnt about the country Malawi in Africa, and tried some traditional Malawi food. Two Japanese people who lived and worked in Malawi presented about the country. Together, we made 'shima', a food made from maize flour and water.

Malawi is a landlocked country in Southeastern Africa with a population of almost 20 million. It is nicknamed "The Warm Heart of Africa" because of how friendly the people there are. Malawi is one of the world's least developed countries, with its economy heavily based on agriculture. However, with the help of outside aid and several government programs, the countries outlook appears to be improving.

The national dish of Malawi is Shima, and it is eaten as a staple carbohydrate food. It is often eaten with breakfast, lunch and dinner. Just like rice it can suit many different types of meals.

We heated up water in a pot, and added maize flour once it started to boil. While keeping it hot, we stirred the mixture for a long time. The more we stirred the harder it became, until it was like mochi.

We had to keep stirring until the Shima was smooth and thick, with no leftover liquid, lumps or dry maize. Then we served it together with a tomato and chicken dish. It was delicious.

It was very simple to make so I was surprised. It was also extremely easy to eat. The texture was pleasant and it didn't have a strong flavor so it went really well with the flavorful tomato and chicken.

Next month you can learn about and try Micronesia food, so please come along and enjoy!



世界中の様々なおいしい料理を食べてみたいですか？みなふく食堂で開催されるイベント、カラフル・カフェでそれができます！

10月はアフリカ大陸のマラウイという国について学んで、一緒に伝統的なマラウイの料理を作りました。マラウイに住んで働いていたことがある2人が国について発表してくれました。一緒にとうもろこし粉と水から作られる「シマ」を作りました。

マラウイはアフリカの南東部の内陸にある国です。人口約2000万人です。人々がとても親切であることから、「アフリカの温かい心」と呼ばれています。マラウイは世界で最も開発が遅れている国の1つであり、その経済は農業に大きく依存しています。しかし、外国の支援といくつかの政府の対策で、将来の見通しは改善しているようです。

マラウイの国民食はシマで、炭水化物の主食として食べられています。朝食、昼食、夕食のとき一緒に食べることが多いです。お米と同じように、様々な料理に合わせることができます。

まず、鍋に湯を沸かし、沸騰したときに、とうもろこし粉を加えました。熱々のまま、長い時間にヘラで混ぜました。もっと混ぜると、もちみたいに固まりました。シマが滑らかで濃厚になり、残りの水分、粉の塊、または乾燥したとうもろこし粉がなくなるまで、混ぜ続ける必要がありました。トマトとチキンの料理と一緒に食べました。大変おいしかったです。

簡単に作る事ができて、びっくりしました。そのうえ、やわらかいので食べやすく、食感も良くて、強い味はなかったので、トマトとチキンの旨みがとてもよく合いました。

来月は、ミクロネシアの文化や食事について学べます。楽しいので、皆さん来てください。

福島移住女性支援ネットワーク

(EIWAN) Facebook

@eiwanfukushima



ふくしま青年海外協力隊の会

Facebook @fukushimaJOCV



1月のからふるカフェのお知らせは、最後のページをご覧ください！

参加者募集

F-IFAの英語講座

英語に親しんでいただくために、英語講座を開催しています。会員の方以外もお試し参加できます！

◇ALT・CIRと英語で話そう！◇

ALTやCIRと一緒に英語でフリートークをします。

日時：4月～2月第3木曜日 18:30～20:00

定員：10名程度

申込み受付：毎月1日から講座の**6日前**まで

◇簡単な英語で話してみよう！◇

入門・初級の方向けの英会話基礎講座です。

日時：原則毎月第2木曜日 18:30～20:00

定員：10名程度

申込み受付：毎月1日から講座の**6日前**まで

※同じ月の「ALT・CIRと英語で話そう！」と「簡単な英語で話してみよう！」両方に申込みことはできません。

場所 福島市役所9階

参加費

学生	200円/回
一般	300円/回
会員	無料

Come and join us!



講座への申込み方法

電話またはメールでF-IFA事務局まで。

申込みの際は氏名、電話番号をお伝えください。

受け付けは原則先着順、定員に達し次第締め切ります。

※日程や場所、実施方法が変更になる場合があります。
協会HP・Facebookをご確認ください。

福島移住女性支援ネットワーク (EIWAN) × ふくしま青年海外協力隊の会 からふるカフェ～ミクロネシア編～

食文化を体験しながら、在住経験者のお話が聞けるイベント「からふるカフェ」、1月のテーマはミクロネシアです。

日時：2023年1月29日(日) 15:00-16:00

定員：12名

参加費：無料



問合せ・申込み

080-2335-9440 または 090-3452-7341

福島市教育委員会

夜間中学で勉強しませんか？

2024年、福島市に公立の夜間中学が開設します。

夜間中学では、日本や外国で中学校の教育を十分に受けられなかった方、もう一度学びなおしたい方を対象に、中学の教科教育を行います。外国籍の方も入学できます。

○教科の学習に必要な日本語の指導も行います。

○授業料、教科書は無料です。

入学希望プレ調査にご協力ください。

夜間中学への入学を希望している、関心がある方は、プレ調査にご回答ください。

プレ調査実施期間：～2023年1月31日

くわしくはQRコードをご覧ください→



問合せ：福島市教育委員会 ☎024-525-3782 FAX: 024-528-2481

〒960-8601 福島市五老内町3-1 福島市役所8階

発行：福島市国際交流協会(F-IFA)事務局

〒960-8143 福島市五老内町3-1 福島市役所定住交流課内

TEL：024-525-3739 Fax024-533-5263 ✉ teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp

ホームページ

▶ <https://www.f-ifa.jp/>



Facebook ▶



Instagram ▶

